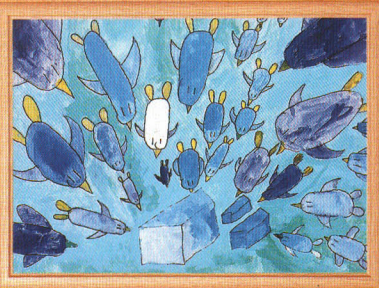


かがやく大屋小  
大屋小学校 6年生  
深谷 拓也



ペンギン大集合  
大屋小学校 4年生  
橋本 誠

子供たちが将来、自分たちを  
誇りに思えるような教育環境を  
創りあげる。

IT革命の追い風を受けるかたちで、大信村の子供たちにもパソコンが、小学校では2人に1台、中学校では1人につき1台普及しています。しかし、それにもなう技術指導がまだまだ追いついていないというのが正直なところ。今後は時間制を導入するなどして、本格的なパソコン教育を進めていきたいですね。そしてもう一つ、グローバル化をめざしての英語教育の実践は、国の補助事業により、すでに外国人指導者に指導に当たっていただいておりますが、今後は村単独でも外国語指導者を呼ぶなどして、小中学校により英語教育を波及させていきたいと考えています。

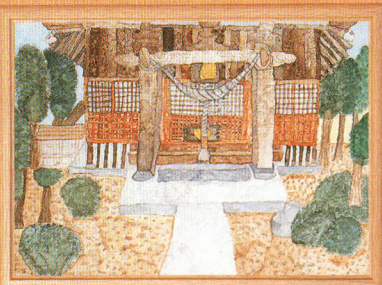
大信村は農業の村というイメージがありますが、実際は村の立地企業をはじめ、隣接市町村の企業に、多くの若者が共稼ぎで働いています。子どもを安心して、生み育てることができるよう、平成14年度からは幼稚園の預かり保育や、小学校下学年の児童を受け入れる「児童クラブ（仮称）」を設立する予定です。これが実現すれば、子供たちの連帯感も強まり、大信村全体の学力の向上にもつながるのでないかと期待しています。

そして、次代を担う大信村の子供には、早い時期から一流の文化に触れ、広い見識を身に

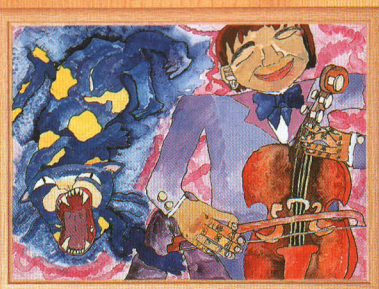
つけてほしいと考えています。例えば、オーケストラや歌舞伎、演劇といった芸術文化・伝統の公演に連れて行ってあげたいですね。年に一度でも、小・中学校で合計9回、その中で得るものが何か一つでもあればいいと思います。

大信村の子供たちが将来、自分たちのことを誇りに思えるような、そんな素晴らしい少年時代を、私たち大人がつくってあげなければいけませんね。

（平成13年12月・大信村長 渡部泰夫談）



神社  
信夫第一小学校 6年生  
鈴木 克也



物語の絵「セロひきとゴージュ」  
信夫第二小学校 5年生  
星 綾香

